

2019年度 食農教育活動支援事業 実施要領

J Aグループ高知 県域担い手サポート連絡協議会

2019年4月

1. 目的

J Aの行う食農教育活動に対して支援を行うことによって、子どもの農業に対する理解の深耕をはかり、もって日本農業のファン層を拡大すること、および地域の発展に貢献することを目的とする。

2. 対象者

食農教育にとりくむJ A・J A出資法人及び組合員組織

3. 対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

4. 助成要件

対象者が以下の取組を実践していること

- (1) 食への関心・興味を高揚し、食の大切さ、食を支える農の役割、自らのくらしと社会の営みと関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどに対する理解を広げ、深めること等をねらいとして行われる次に掲げる活動
 - (a) 食農教育にかかる農業体験学習活動の実践（関連資材や教材の提供を含む。）
 - (b) 地元食材および地元食材を使用した加工品（ただし、恒常的な食材提供にかかる経費は助成対象外とする。）を使った学校給食の促進活動や料理教室
 - (c) 児童による農家、給食センターとの交流、意見交換
 - (d) 食農教育に関連するイベント、コンクールの実施
 - (e) 農業体験を主とするグリーンツーリズムの受け皿対応

5. 助成内容（金額）

食農教育活動に必要な経費（農薬・肥料代、資材代、食材費、謝礼など）で、上記対象期間中に支出した金額のうち、国・県等の補助金を控除した残額（自己負担分）を助成する。ただし、助成金額は1活動あたり100万円を上限とする実費。

6. 助成申請の手順

- (1) 様式1の「事業実施計画・予算書」を活動毎に作成し、J Aを通じて県域担い手サポート連絡協議会に提出する。なお、提出期限は2019年6月末とする（事業申請）。
- (2) 県域担い手サポート連絡協議会は、提出書類に基づいて審査を行い、結果についてJ Aを通じて通知する。
- (3) 事業実施後に、様式2「事業実績報告書」を活動毎に作成し、J Aを通じて県

域担い手サポート連絡協議会に提出する。提出する際には、食農教育活動に必要な経費を証明する書類を添付すること。なお、提出期限は2019年9月末（上期）と2020年3月末（下期）の2回とする（助成申請）。

7. 助成金の交付時期

助成金は、様式2「事業実績報告書」の提出期限終了後、1ヵ月を目安にJAを通じて交付する。

8. コンプライアンス

- (1) 助成金の申請にあたり、詳細な内容を確認するため、別途、協議会から関係書類の提出を求める場合がある。
- (2) 助成金の申請にあたり、不正な内容が含まれていた場合、助成金の返還を求める場合がある。
- (3) 助成金の申請にあたり、反社会的勢力（暴力団、暴力団関係企業、総会屋若しくはこれらに準ずる者またはその構成員）からの申請は、一切受け付けない。
- (4) 助成金の申請にあたり、申請者から提出された個人情報、当該事業に関する業務以外には使用しない。

附則

この要領は、2019年4月1日から実施する。

平成 年 月 日

J Aグループ高知
 県域担い手サポート連絡協議会 委員長 殿

_____農業協同組合
 代表理事組合長_____印

**「2019年度 食農教育活動支援事業 実施要領」にかかる
 事業実施計画・予算書**

見出しの要領に基づき、下記の通り申請いたします

記

1. 対象者（実施主体）： _____

2. 取組項目

取組項目	確認欄
(a) 食農教育にかかる農業体験学習活動の実践	
(b) 地元食材および地元食材を使用した加工品を使った学校給食の促進活動や料理教室	
(c) 児童による農家、給食センターとの交流、意見交換	
(d) 食農教育に関連するイベント、コンクールの実施	
(e) 農業体験を主とするグリーンツーリズムの受け皿対応	

※取組項目のうち、該当する活動に○をご記入ください。

3. 計画（取組内容）

※詳細な実施要領がある場合は、そちらを添付してください。

4. 予算（申請時点の見込み金額）

総事業費 _____円 - 国等からの補助金 _____円 = 自己負担額 _____円
 ⇒ 【助成金額】 _____円

※ 経費（農薬・肥料代、資材代、食材費、謝礼など）のうち、国・県等の補助金を控除した残額（自己負担分）を助成する。ただし、助成金額は1活動あたり100万円を上限とする実費。（金額は千円未満切り捨てとします）。

以 上

平成 年 月 日

JAグループ高知

県域担い手サポート連絡協議会 委員長 殿

_____農業協同組合

代表理事組合長_____印

**「2019年度 食農教育活動支援事業 実施要領」にかかる
事業実績報告書**

見出しの要領に基づき、下記の通り報告いたします

記

1. 対象者（実施主体）： _____

2. 取組項目

取組項目	確認欄
(a) 食農教育にかかる農業体験学習活動の実践	
(b) 地元食材および地元食材を使用した加工品を使った学校給食の促進活動や料理教室	
(c) 児童による農家、給食センターとの交流、意見交換	
(d) 食農教育に関連するイベント、コンクールの実施	
(e) 農業体験を主とするグリーンツーリズムの受け皿対応	

※取組項目のうち、該当する活動に○をご記入ください。

3. 実績（取組内容）

※詳細な実施要領がある場合は、そちらを添付してください。

※具体的に取り組んだ内容がわかるよう概要（できるだけ数値で）を記述してください。

※詳細がわかる資料を作成している場合は当該資料を添付して代用することも可能です。

4. 支出金額（確定金額）

総事業費		国等からの補助金		自己負担額
<input type="text"/> 円	－	<input type="text"/> 円	=	<input type="text"/> 円
			⇒	【助成金額】
				<input type="text"/> 円

※ 経費（農薬・肥料代、資材代、食材費、謝礼など）のうち、国・県等の補助金を控除した残額（自己負担分）を助成する。ただし、助成金額は1活動あたり100万円を上限とする実費。（金額は千円未満切り捨てとします）。

以 上